

ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)

追加型投信／内外／株式

2021年4月19日に満期償還となる予定です。

作成対象期間：2020年4月21日～2020年10月19日

第107期決算日：2020年5月18日 第110期決算日：2020年8月18日

第108期決算日：2020年6月18日 第111期決算日：2020年9月18日

第109期決算日：2020年7月20日 第112期決算日：2020年10月19日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、主として円建て外国投資信託への投資を通じて、世界の高配当利回りの公益株に実質的な投資を行うとともに、投資した株式の通貨に対するブラジルリアル買いの為替取引を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第112期末 (2020年10月19日)

基準価額 2,176円

純資産総額 791百万円

第107期～第112期

騰落率 -2.1%

分配金合計(*) 65円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  0120-151034

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第107期～第112期：2020年4月21日～2020年10月19日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第107期首	2,290円
第112期末	2,176円
既払分配金	65円
騰落率	-2.1%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ2.1%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

> 基準価額の主な変動要因

上昇要因

新型コロナウイルスのワクチン開発や主要国の経済対策への期待などを受けた、経済活動の正常化期待や景気回復期待などを背景にグローバル株式市況が上昇する中、組入銘柄（ネクステラ・エナジー、イベルドローラなど）の株価が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

投資した株式の通貨（以下、原資産通貨）に対するブラジルリアル買いの為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）を享受したことが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

新型コロナウイルスの感染拡大への懸念などを受けてブラジルリアルが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

2020年4月21日～2020年10月19日

1万口当たりの費用明細

項目	第107期～第112期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	15	0.680	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(7)	(0.329)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(7)	(0.329)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	15	0.682	

作成期中の平均基準価額は、2,211円です。

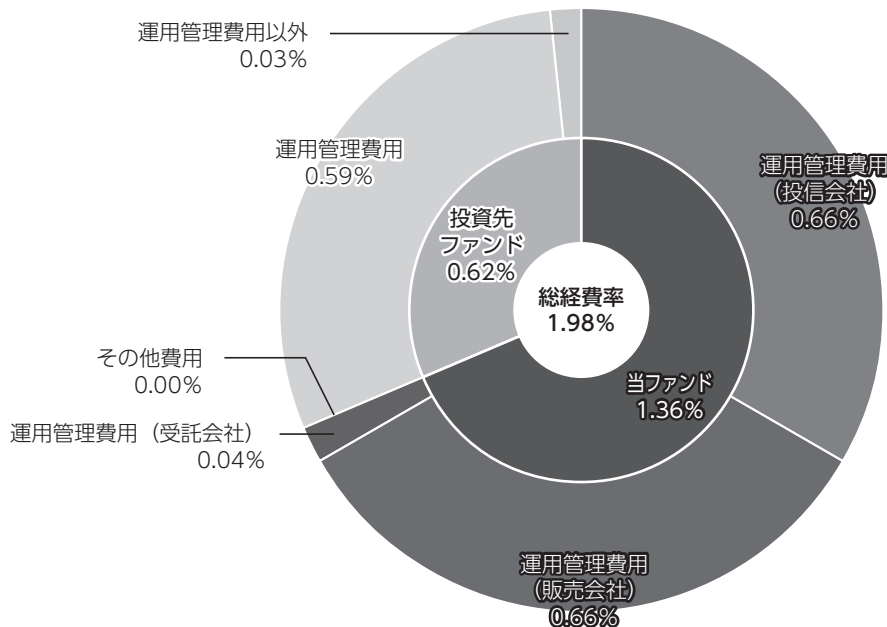
- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.98%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.98
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.36
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.59
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.03

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2015年10月19日～2020年10月19日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2015年10月19日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2015/10/19 期初	2016/10/18 決算日	2017/10/18 決算日	2018/10/18 決算日	2019/10/18 決算日	2020/10/19 決算日
基準価額 (円)	4,348	3,965	4,316	3,197	3,247	2,176
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,020	720	510	180	155
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	17.4	28.8	-14.3	7.3	-28.8
純資産総額 (百万円)	1,746	1,323	2,180	1,531	1,282	791

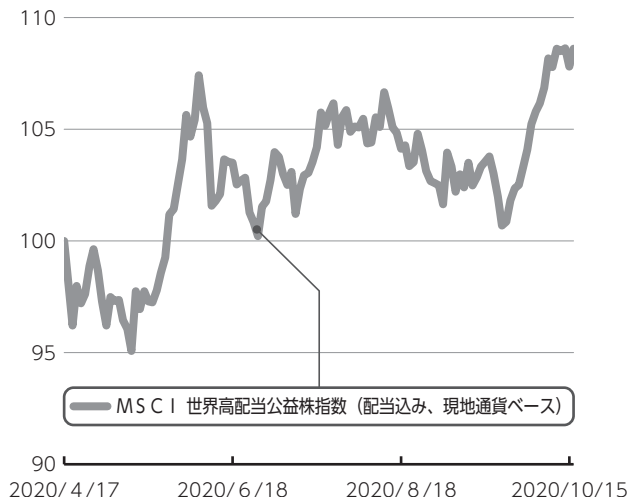
※ファンド年間騰落率は、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第107期～第112期：2020年4月21日～2020年10月19日

投資環境について

株式市況の推移 (当作成期首を100として指数化)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

(注) MSCI 世界高配当公益株指数は、世界の公益株の中から、相対的に配当利回りの高い銘柄で構成される指数であり、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

株式市況

グローバル株式市況は、上昇しました。

新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への影響が引き続き意識されましたが、主要国の経済・金融政策や新型コロナウイルスのワクチン開発への期待などを背景に経済活動の正常化期待や景気回復期待が高まったことなどから、当作成期を通じてグローバル株式市況は概ね上昇基調で推移しました。

このような市況推移の中、当作成期の公益株市況は上昇しました。

為替市況の推移 (当作成期首を100として指数化、対円)



▶ 為替市況

ブラジルレアルは対円で下落しました。

当作成期を通してみると、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念や政治不安等を背景に、ブラジルレアルは対円で下落しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当作成期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.031%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)

主として円建て外国投資信託であるピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド (H P B R L) - J P Y 分配型へ投資し、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド (H P B R L) - J P Y 分配型

世界の高配当利回りの公益株に投資を行い、保有外貨建て資産において、原資産通貨に対するブラジルリアル買いの為替取引を行いました。

財務体質が健全であり、持続的な力強いキャッシュフロー創出力により配当利回りが高く、成長性が高いと見られる銘柄を組み入れる運用を行いました。組入比率は高位を維持しました。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド コール・ローン等短期金融商品を活用し、 利子等収益の確保を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第107期 2020年4月21日~ 2020年5月18日	第108期 2020年5月19日~ 2020年6月18日	第109期 2020年6月19日~ 2020年7月20日	第110期 2020年7月21日~ 2020年8月18日	第111期 2020年8月19日~ 2020年9月18日	第112期 2020年9月19日~ 2020年10月19日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 (0.767%)	10 (0.432%)	10 (0.431%)	10 (0.448%)	10 (0.455%)	10 (0.457%)
当期の収益	15	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	4,496	4,504	4,509	4,514	4,520	4,526

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)

主として円建て外国投資信託への投資を通じて世界の高配当利回りの公益株に投資を行い値上がり益の獲得をめざします。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行います。

▶ ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンダー・ヘッジド・ファンド (HPBRL) - JPY 分配型

中長期的には世界的に電力などの需要拡大が予想されており、公益セクターの事業環境は良好との見方には変わりありません。

経済活動再開の動きを背景に景気の回復が期待される一方で、新型コロナウイルスの感染再拡大や主要国の政治動向など先行きの不透明感が高く、今後も市場の値動きが大きくなることが想定されます。こうした環境下では、収益や配当の見通

しがしっかりした公益銘柄への注目度が高まるとみられるため、景気低迷による影響を相対的に受けにくい規制下事業の比率が高い銘柄の組入比率を高めています。

地域別では米国の公益企業に注目しています。また、再生可能エネルギーへの投資シフトによる恩恵が期待される企業にも引き続き注目するほか、ESGへの取り組みなども重視して、投資を行う方針です。

なお、保有外貨建て資産については、原資産通貨に対するブラジルリアル買いの為替取引を行います。

- ### ▶ マネー・マーケット・マザーファンド
- 消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

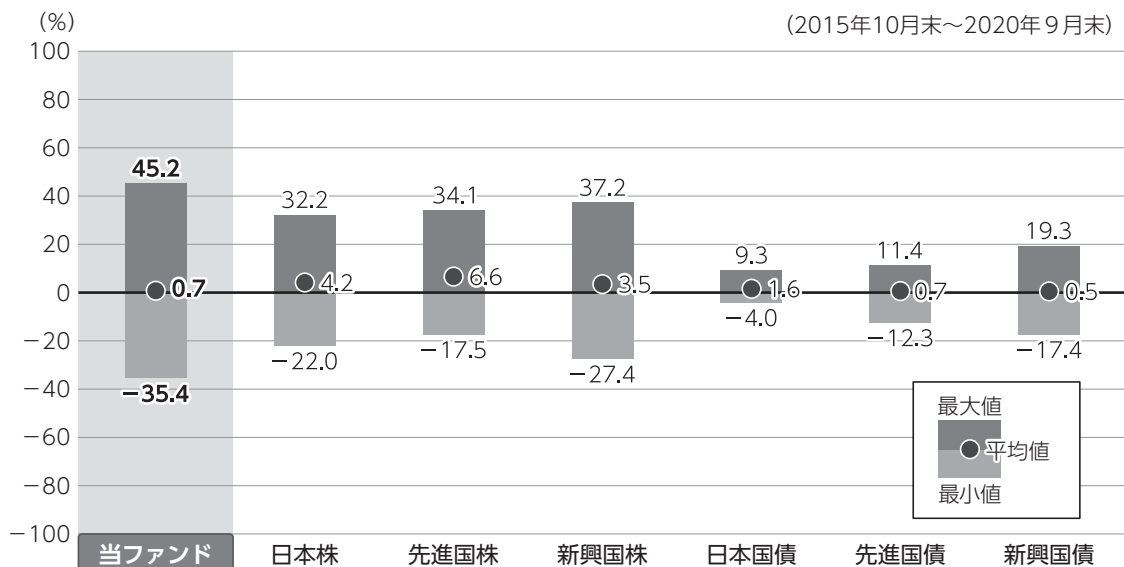
- ・当ファンドは信託約款に基づき、2021年4月19日に信託期間を終了し満期償還となる予定です。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2021年4月19日まで（2011年5月11日設定）
運用方針	主として円建ての外国投資信託であるピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド（HP BRL） - JPY 分配型の投資信託証券への投資を通じて、世界の高配当利回りの公益株に実質的な投資を行い、値上がり益の獲得をめざします。また、当該外国投資信託への投資を通じて、原資産通貨からブラジルリアルに対して為替取引を行います（このため、基準価額はブラジルリアルの対円での為替変動の影響を受けます）。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。投資信託証券への運用の指図に関する権限は、ピクテ投信投資顧問株式会社に委託します。
主要投資対象	<p>■当ファンド ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド（HP BRL） - JPY 分配型およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド（HP BRL） - JPY 分配型 新興国を含む世界の高配当利回りの公益株を主要投資対象とします。</p> <p>■マネー・マーケット・マザーファンド わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	世界の高配当利回りの公益株を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2015年10月から2020年9月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversifaid

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2020年10月19日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第112期末 2020年10月19日
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド (HP BRL) - JPY 分配型	98.7%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.1%

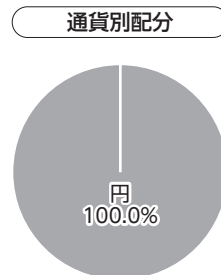
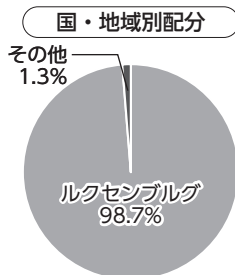
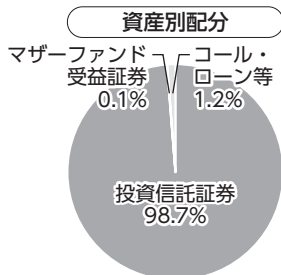
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

純資産等

項目	第107期末 2020年5月18日	第108期末 2020年6月18日	第109期末 2020年7月20日	第110期末 2020年8月18日	第111期末 2020年9月18日	第112期末 2020年10月19日
純資産総額 (円)	728,811,409	864,292,841	861,314,475	823,271,323	800,056,370	791,410,617
受益権口数 (口)	3,755,182,139	3,750,685,126	3,731,058,653	3,704,578,918	3,659,376,836	3,637,282,281
1万口当たり基準価額 (円)	1,941	2,304	2,308	2,222	2,186	2,176

※当作成期間中(第107期~第112期)において追加設定元本は37,673,587円
同解約元本は151,799,225円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

2019年12月31日現在

組入上位ファンドの概要

▶ ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド — グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド (HP BRL) - JPY 分配型

基準価額の推移

2018年12月31日～2019年12月31日



1万口当たりの費用明細

2019年1月1日～2019年12月31日

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

【参考情報】

費用項目	比率
運用管理費用 (信託報酬)	0.60%
その他	0.03%
費用合計	0.63%

※上記は、ピクテ社から提供された費用明細を三菱UFJ国際投信が「運用管理費用 (信託報酬)」と「その他」に分類して表示したものです。

※比率は、上記分類による費用金額の合計を期中の平均純資産総額で除した参考値です。

基準価額の推移・1万口当たりの費用明細以外の開示情報につきましては、各通貨毎のクラス分けされたものがないため、「ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド — グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド」ペースで表示しています。

▶ ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド<グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド>

組入上位10銘柄

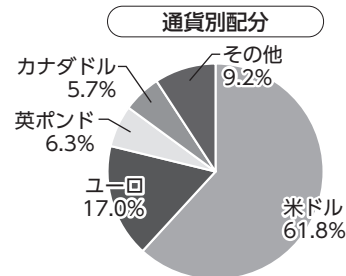
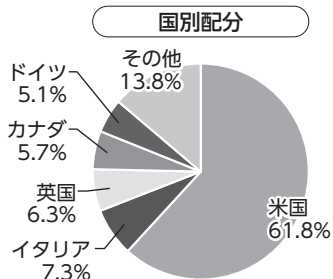
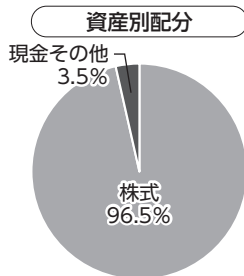
(組入銘柄数：59銘柄)

	銘柄	種類	国	比率(%)
1	NEXTERA ENERGY	株式	米国	4.6
2	NATIONAL GRID	株式	英国	4.3
3	SEMPRA ENERGY	株式	米国	3.9
4	AMERICAN ELECTRIC POWER	株式	米国	3.8
5	XCEL ENERGY	株式	米国	3.6
6	ENEL	株式	イタリア	3.6
7	DOMINION ENERGY	株式	米国	3.6
8	ENTERGY	株式	米国	3.5
9	EXELON	株式	米国	3.3
10	RWE	株式	ドイツ	3.2

※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等



※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

968469

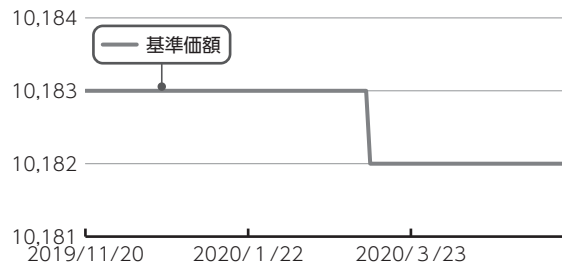
2020年5月20日現在

組入上位ファンドの概要

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額の推移

2019年11月20日～2020年5月20日
(円)



1万口当たりの費用明細

2019年11月21日～2020年5月20日
当期において費用が発生していないため、費用明細は作成していません。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1銘柄)

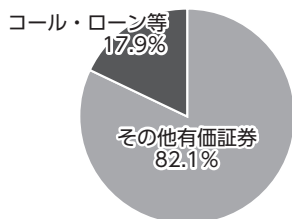
	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	アプラス 200521	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	82.1
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

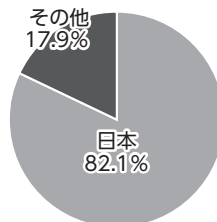
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

種別構成等

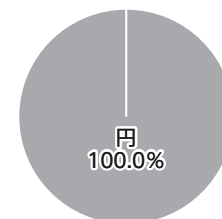
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権は J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信